

# 第一回 道德科学研究フォーラム(通算第四十七回)のご案内

## 新たな時代の道德を共に創る(1/25(土)・26(日))

道德科学研究フォーラム委員長 冬<sup>ふゆ</sup>月<sup>つき</sup> 律<sup>りつ</sup>  
(社会科学研究室主任研究員)

道德科学研究センターでは、今年「新たな時代の道德を共に創る」を共通テーマに取り上げました。

このテーマのもと、変化しつつある時代状況をしっかりと把握えながら、人間・社会・文明のよりよきあり方を領域横断的に探究していきたいと考えております。

\* \* \*

すでに九月号の『所報』で紹介しましたように、令和元年度より「モラロジー研究発表会」の名称を、「道德科学研究フォーラム」(以下、フォーラムと称す)と改めて開催します。

名称変更に伴い、プログラムにも新たな要素を加えました。具体的には、講演と個人発表のほかに、シンポジウムを加える形で再編成しました。開催場所も廣池千九郎記念講堂と柏生涯学習センターの二会場を使用します。

フォーラムの特徴は、何より分科会の形式を導入したこと。分科会形式にすることによって、参加者の関心

によって教室を選択できるようにしました。これまで以上に発表者との議論をお楽しみいただけたと思います。

以下、簡単に内容を紹介します。フォーラムのプログラム(二七頁)と合わせてご覧ください。

フォーラムの一日目(二月二十五日)は例年通り、廣池千九郎記念講堂で行います。

まず「講演1」は、共通テーマに関する基調講演として、先崎<sup>せんざき</sup>彰<sup>あき</sup>容<sup>あき</sup>先生(日本大学教授)に「分断社会を、どう生きるかー公共性のつくり方」をテーマにお話をいただきます。国家や階級で自分のアイデンティティと所属意識を語るのではなく、経済格差で自己評価する現代社会の状況をもう一

度冷静に分析することで、公共性のあり方について考える貴重な機会になると思います。

「シンポジウム1」「進化と自然の視点からこれからの道德を考える」では、廣池千九郎博士が『道德科学の論文』で展開した道德科学の基礎論と最高道德論の議論がどのように接続するのかを、進化や自然観という視点を軸に考察します。

そして、フォーラムの二日目(二十六日)は、会場を廣池千九郎記念講堂から柏生涯学習センターに移し、複数のシンポジウムと個人発表を分科会形式で並行して行います。

「シンポジウム2」「グローバル社会における企業の生き残りと道德」では、新興国における諸問題を、異種組織が協調して解決しようとする事例から、企業において望ましい行動について検

討します。

「シンポジウム3」「新たな時代の道德ー分断する社会の統合のために」では、国内外において社会の分断が進むなか、個人の孤立と集団の対立が深まりつつある現状をいかに受け止め、乗り越えていくかを考えます。

「シンポジウム4」「モラロジー子育てサークル活動のこれから」では、これからの次世代育成とモラロジー継承について参加者と共に考えます。会場にはモラロジー研究所・家庭教育課の全国調査と活動事例報告のほかに、実際の子育てサークルメンバーも参加します。

「シンポジウム5」「廣池千九郎思想マップ 中津く京都時代まで」では廣池博士の思想形成にかかわったさまざまな人物について、分かりやすく解説します。

「講演2」は所<sup>しよ</sup>功<sup>こう</sup>先生<sup>せんせい</sup>に「令和の御大礼から見る伝統文化のあり方」をテーマにお話しいただきます。平成に準拠して実施された令和の御大礼には、古代以来と近代以降の要素が盛り込まれています。講演では、それらを総合的に再検討し、日本的な伝統文化のあり方を考えます。

1月25日 フォーラム1日目		会場：廣池千九郎記念講堂（記念講堂）
時間	プログラム	場所
12:30～13:00	受付	記念講堂ロビー
13:00～13:20	開会挨拶	記念講堂
13:20～14:50	講演1(先崎)	記念講堂
14:50～15:10	休憩	道徳科学研究センターロビー
15:10～17:10	シンポジウム1(立木、竹中、宗)	記念講堂
17:10～17:20	翌日のご案内	記念講堂
18:00～19:30	懇親会	レストランまんりょう

1月26日 フォーラム2日目		会場：柏生涯学習センター	
時間	301会場	302会場	202会場
09:30～10:40	シンポジウム2 (寺本、藤野、横田)	シンポジウム3 (山岡、川久保、モーガン)	シンポジウム4 (木下、高橋、家庭教育課、 子育てサークルメンバー)
10:40～11:00	休憩	休憩	
11:00～11:30	個人発表1(宮下)	シンポジウム5 (冬月、江島)	
11:30～12:00	個人発表2(小山)	昼食&発表者と参加者の交流	
12:00～13:00			
13:00～14:10	講演2(所)	/	
14:10～14:30	休憩(3階廊下)		
14:30～15:50	個人発表3(犬飼)		
	個人発表4(大野) ※コメンテーター(梅田)		
15:50～16:00	閉会挨拶		

※ 個人発表およびシンポジウム一覧

区分	発表者	テーマ
講演1	先崎彰容	分断社会を、どう生きるかー公共性のつくり方
講演2	所 功	令和の御大礼から見る伝統文化のあり方
個人発表1	宮下和夫	ケアとモラロジー
個人発表2	小山高正	人生100歳時代における高齢者の道徳的課題について
個人発表3	犬飼孝夫	AI(人工知能)をめぐる倫理と道徳
個人発表4	大野正英	AIに関する倫理的・道徳的課題
シンポジウム1	立木教夫、竹中信介、 宗 中正	■進化と自然の視点からこれからの道徳を考える 自然的存在から道徳的存在へと進化したヒト/人間 ー大きな脳がもたらした変化(立木) 廣池千九郎の事跡と思想に見る自然観(竹中) 「新たな時代の道徳」としての開かれた最高道徳(宗)
シンポジウム2	寺本佳苗、藤野真也、 横田理宇	■グローバル社会における企業の生き残りと道徳 サプライチェーンにおける人権問題に対する組織間の 連携の広がり(寺本) 日本企業の海外進出と贈収賄の防止(藤野) 大企業のCSRに関する取り組みが中小企業の 経営に与える影響(横田)
シンポジウム3	山岡鉄秀、川久保剛、 ジェイソン・モーガン	■新たな時代の道徳ー分断する社会の統合のために 分断社会を道徳で救えるのか? ーアメリカ孤立社会から得た教訓(山岡) 主権国家を超えるコモンモラルティの形成と日本の役割(川久保) 分断社会と人間のあるべき姿 ーモダン時代で失ったところの一貫性(モーガン)
シンポジウム4	木下城康、高橋史朗、家庭教育課、 子育てサークルメンバー	■モラロジー子育てサークル活動のこれから
シンポジウム5	冬月律、江島頭一	■廣池千九郎思想マップ 中津～京都時代まで

※上記のプログラムは変更する場合があります。

講演とシンポジウムのほかに、個人発表では新たな時代の道徳を考えるための、ケアとモラロジー、高齢社会の

最後に、共通テーマに基づきながら、道徳、AI(人工知能)と倫理道徳を取りあげます。

も、多角的な視点から取り組んだ研究の成果を、ぜひ皆様とともに共有し、考えていきたいと思えます。

これまでの研究発表会の参加者も、心よりお待ちしております。